

2026 年度 第3回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 開催日

2026 年7月6日(月)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

林議長、犬飼委員、金村委員、田中委員、横山委員、田口委員、濱口委員、善生委員、竹島委員、
國澤委員、今北委員、臼倉委員、小澤委員、植野委員、戸部委員
オブザーバー参加：常盤学長補佐、北畠情報センター長、上原地域連携センター長、滑川保健
センター長

4 事務局

平野副局長、新井調整幹兼総務担当部長、出井財務担当部長、甲田施設管理担当部長、根本
教務・入試担当部長、富田学生・就職支援担当部長、黒沢研究・地域連携担当部長、小寺企画・
情報担当部長

5 議事概要

【報告事項】

(1)2025 年度累積 GPA の結果報告について

資料に基づき、金村高等教育開発センター長から説明がされた。

(2)2025 年度授業評価・学修成果アンケートの結果について

資料に基づき、金村高等教育開発センター長から説明がされた。

○アンケート回答率について、科目群単位ではなく個々の科目ごとに見ると回答率にばらつき
があると思われるが、その点はどのように解釈しているのか。

⇒科目ごとに回答率の差は見られるが、今回は科目群単位で集計しているため平均化された結
果となっている。今後は個別科目やカテゴリー別の分析も検討したい。

○前期・後期で自由記述の分析結果に違いが見られるとのことだが、科目単位でのより本質的
な分析が必要であると思うので、可能な範囲で情報提供していただきたい。

⇒今回は全体傾向の把握を目的としているが、今後はより詳細な分析についても検討してい
きたい。

○アンケート回答率向上のため、今後どのような取組を考えているのか。

⇒授業終了時にアンケート回答時間を確保する取組を継続するとともに、システム更新に合わせ

て、学生への通知機能等の活用も検討している。

○授業改善に向けて、教員同士が授業を見学したり助言し合ったりする取組も重要ではないか。
⇒シラバスの相互確認やFD研修を継続しているほか、過去には授業参観も実施していた。今後も教員相互の学び合いを進めていきたい。

○大学院アンケートで挙げた媒体やソフトに関する課題は、システム更新によって改善が見込まれるのか。

⇒Zoom や Teams など複数のツールを使用していることから学生からネガティブな意見が寄せられており、今後は連絡手段や利用ツールを統一するのか複数のツールを併用するのか検討したい。

○学生のアンケート疲れも考慮し、アンケート結果が授業改善にどのように反映されたかを学生に示すことが重要ではないか。また、自由記述について学生と教員の認識に差がある場合もあるため、双方向的な改善につながる仕組みを検討してはどうか。

⇒アンケート結果については学生向けの EDC.Info Green などの情報発信や次年度のシラバスへの反映を行っており、今後も改善内容の共有方法について検討していく。

○キーワードネットワーク分析の図について、線の太さや円の大きさなどの意味、テストや試験などの類似語の扱いはどのようになっているのか。

⇒円は出現頻度、線は語句の関連性を示している。詳細については分析部門の教員に確認の上、案内する。

(3)学生調査(卒業・修了時)の結果について

資料配布により報告がされた。